

各 位

2021 年 11 月 8 日
株式会社 M i s u m i

「ミスミ野菜工場 始良」竣工

農業事業に参入、安心・安全・安定の農作物供給を目指して

株式会社 Misumi（本社：鹿児島市卸本町 7 番地 20 代表取締役社長：岡 恒憲 以下、当社）は、農業事業に本格的に参入することとなりましたので、お知らせします。当社は農業事業の第一号として、鹿児島県始良市蒲生町に、葉菜類生産設備を有する完全人工光型植物工場「ミスミ野菜工場 始良」（以下、当社工場）を竣工し、水耕栽培による野菜の生産・販売事業を開始いたします。



当社では農業事業への参入にあたり、大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 5 号 代表取締役社長：芳井 敬一 以下、大和ハウス工業）の建築ソリューションと、三協立山株式会社（本社：高岡市早川 70 番地 代表取締役社長：平能 正三 以下、三協立山）の栽培技術を組み合わせて実現した、完全閉鎖型植物工場システム「agri-cube ID(アグリキューブ・アイディー)」を導入いたしました。このシステムは、天候に左右されないため安定的に、かつ害虫が侵入・発生しにくいいため、農薬を使用しない野菜の生育が可能です。また、出荷時の付着生菌数を低減化することで、高い鮮度を従来よりも長く維持できるため、品質劣化による食品ロスの削減に繋ぐことができます。生産・販売にあたり、大和ハウス工業が野菜販路サポートを、三協立山が当社工場の栽培サポートを行って参ります。

国内の農業を取り巻く状況として、昨今の異常気象や災害が野菜価格の乱高下を招き（末頁グラフ-1 参照）生産者や消費者に大きな影響を与えているほか、農業従事者の高齢化や、農業の担い手不足が深刻化しております。（末頁グラフ-2 参照）また、残留農薬や

食中毒、異物混入など「食の安全」に関わる消費者意識も高まっています。さらには、女性の社会進出などライフスタイルの変化により、時短ニーズや食の簡便化が進み、サラダや惣菜等の中食市場が長期的に拡大しています。（末頁グラフ-2 参照）当社は、農業事業を通して課題の解決及び、お客様のニーズに応えてまいります。

当社工場の特徴

1. 独自の栽培管理システムによる、野菜栽培の最適化を実現します。

従来の植物工場は、風が全ての野菜に均一に当たらず、温度にもばらつきがあるため、成長速度・品質にも影響を及ぼしていました。当社工場では、均一量の風が全ての野菜に当たるよう設計された、独自の送風システムにより、栽培時のムラを低減し生産歩留の向上を実現しました。また、独自の養液管理システムにより成長速度が向上し、播種から最短35日ほどで収穫・製品化が可能です。

2. ITを活用した作業の省力化・省人化を推進します。

当社工場では、工場内のCO₂濃度や温度等の栽培環境を常時モニタリングしています。収集されたデータはタブレットなどの情報端末に表示され、異常が発生した場合は警告が発出され、生育不良を未然に防止します。これらのシステムにより、作業の省力化・省人化を実現しました。

3. 土地の高度利用と労務負担を軽減し、雇用創出と産業化で地域に貢献します。

当社遊休施設をリノベーションすることで土地を有効活用し、かつ、植物工場の特徴でもある多段栽培により、高い空間効率を実現いたしました。また、栽培技術を標準化して作業時における負担を軽減することで、農業経験のない方や、幅広い年令の方々が雇用可能となり、これまで以上に地域の雇用創出に貢献してまいります。

今後の事業展開

直近では、大手向け加工ベンダー事業者が求める高い要求水準を満たすG.A.P※の認証取得を目指し、九州一円をターゲットに、安定した調達を必要とする業務用市場で一定のシェアを確保いたします。また、より多くのお客様にお買い求め頂けるよう、スーパーマーケットなど小売事業者様への販路拡大を進めてまいります。長期的には農業事業を当社の主要事業の一つとして、工場の新設を含む生産規模の拡大を図り、今後5年間で年間売上高7億円を目指して参ります。

Misumiグループは「夢に、前向き」のブランドスローガンのもと、お客様、地域社会に貢献することを経営方針の一つに掲げており、今後も農業事業への取り組みを推進し、未来へ向かって地域の方々と共に新しい価値を創り上げてまいります。

※G.A.P：Good Agricultural Practice の略称。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと。

当社工場の概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 所在地 | : 鹿児島県始良市蒲生町白男 1406 |
| (2) 延べ床面積 | : 1,282 m ² |
| (3) 操業開始 | : 2021 年 11 月 10 日 |
| (4) 総投資額 | : 5.1 億円 |
| (5) 雇用従業員数 | : 15 名 (予定) |
| (6) 栽培品目 | : 葉菜類 (グリーンリーフ・フリルレタスなど) |
| (7) 栽培規模 | : 3,200 株/日 (フリルレタス 200g/1 株 換算で 640kg/日) |
| (8) 年間売上高目標 | : 1 億 8000 万円 |

お問い合わせ先

株式会社 M i s u m i ミスミ野菜工場 始良

TEL : 0 9 9 5 - 5 6 - 8 6 6 8 担当者: 福迫・今村

株式会社 M i s u m i 会社概要

設立年月日: 1959 (昭和 34) 年 2 月 2 日

従業員数 : 連結: 626 名 / 単体: 482 名 (2021 年 3 月 31 日現在)

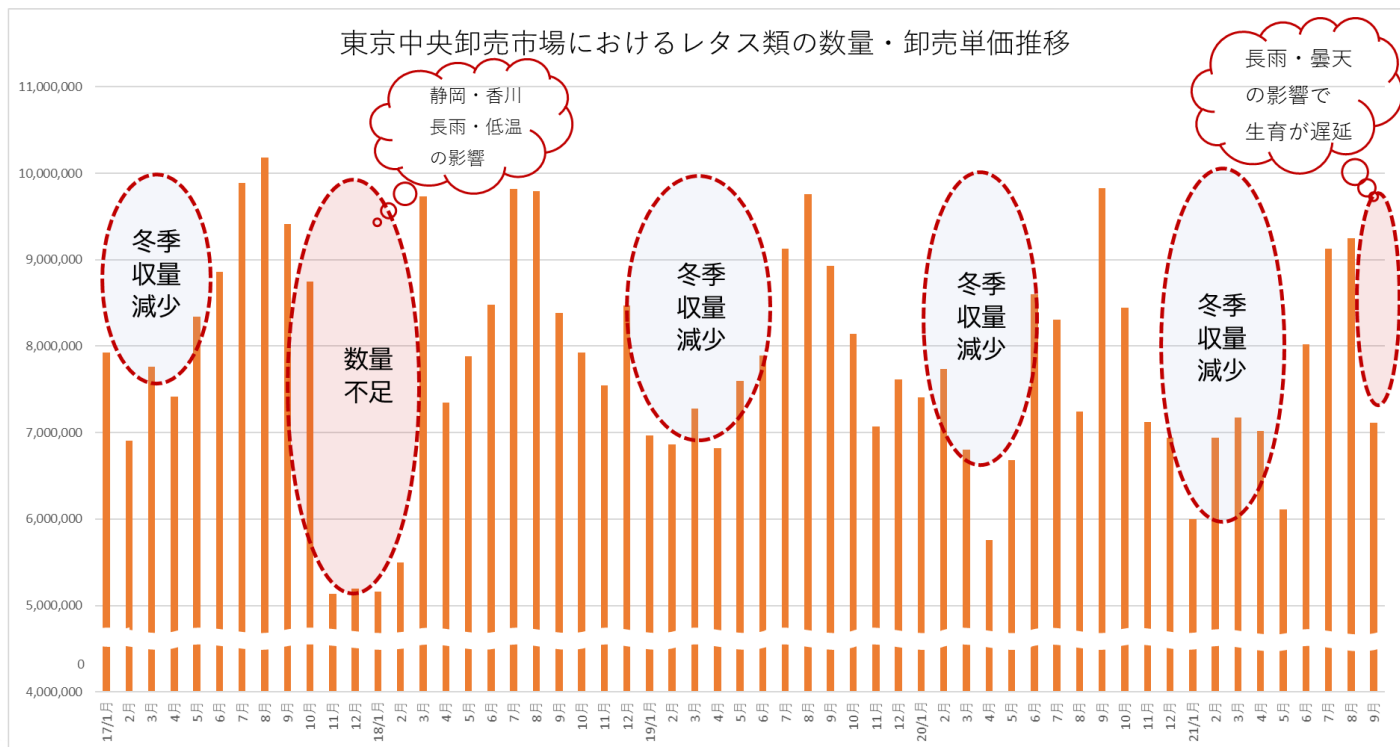
資本金 : 16 億 9,089 万 9,985 円 (2021 年 3 月 31 日現在)

本社所在地: 鹿児島県鹿児島市卸本町 7 番地 20

事業内容 : 石油卸小売・カーケア商品・整備・LP ガス卸小売・住宅設備機器の販売・電力小売・
小水力発電・書籍・文具雑貨・CD・DVD の販売/レンタル・PC 等・各種省エネ機器の販売・
ハウジング・リフォーム事業・商業施設の運営・ケンタッキーフライドチキン、ピザハット、
石窯パン工房 Parasso の 運営、植物工場の運営

グラフ-1

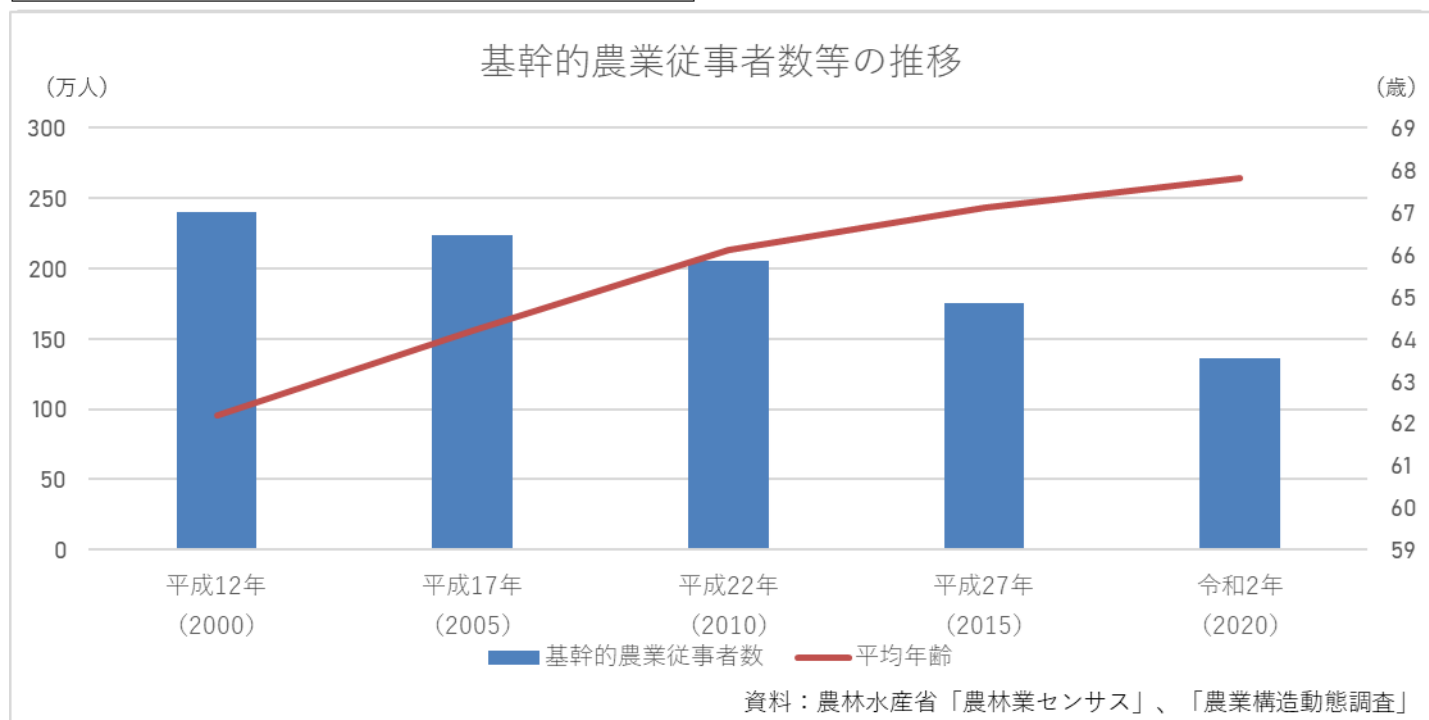
レタス類は気象条件によって、生産高が大きく変動する。



出典：東京都中央卸売市場 市場統計情報（月報・年報） 赤雲マーク→農水省発表「野菜の生育状況」より

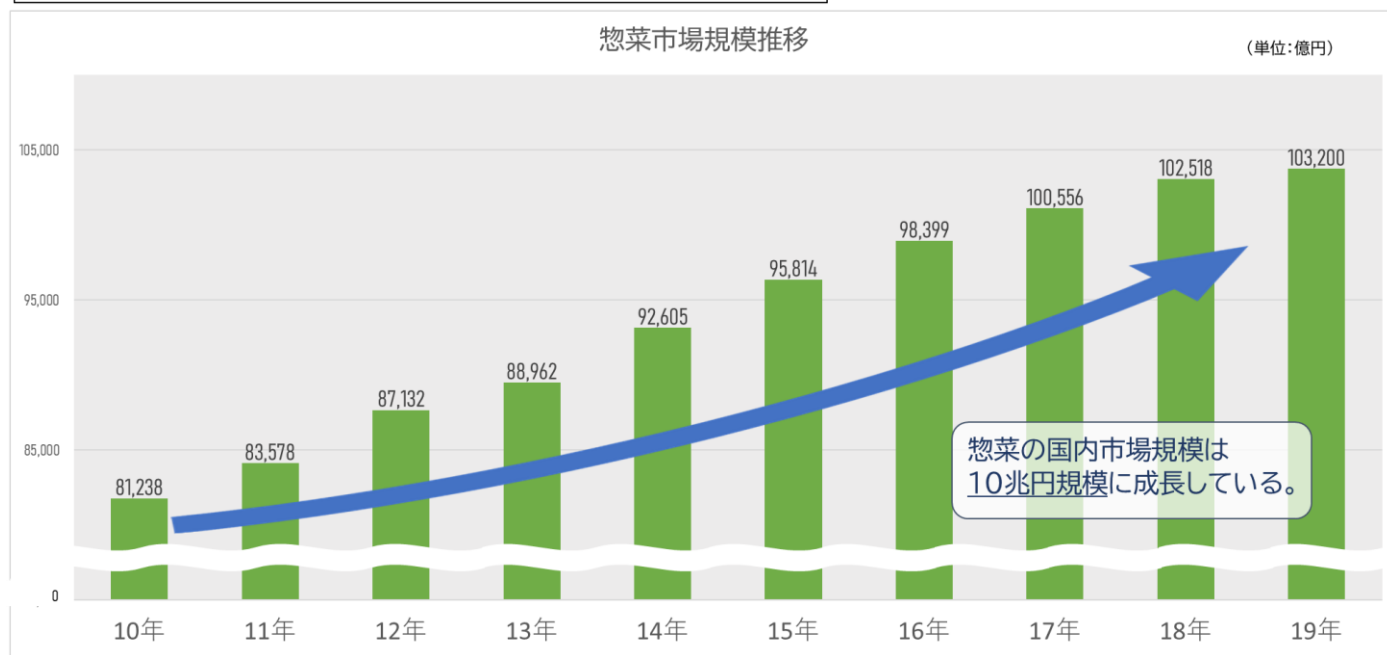
グラフ-2

農業従事者数は年々減少し、高齢化も進んでいる。



グラフ-3

安定的な野菜供給を必要とする惣菜の市場規模は年々拡大している。



出典：（一社）日本惣菜協会『2021年版惣菜白書』